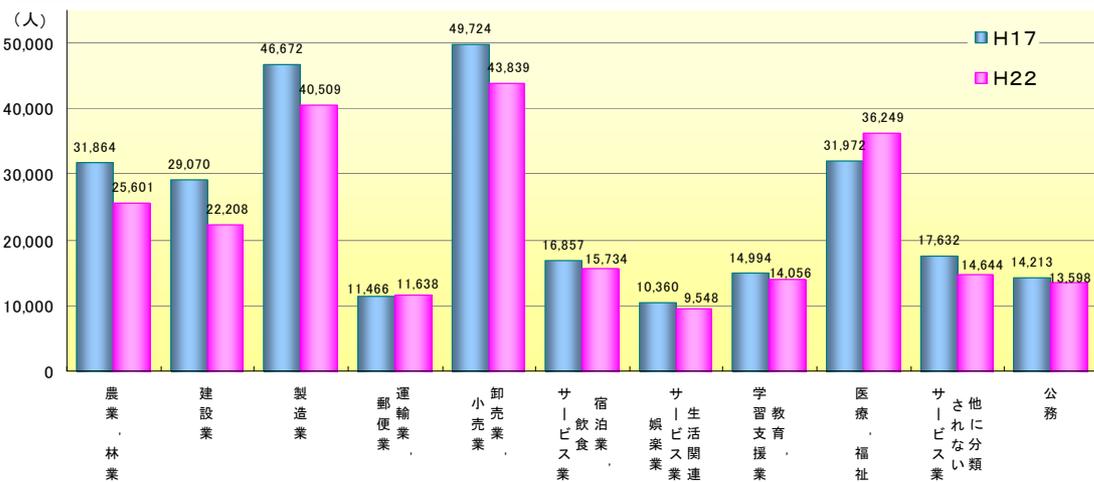


平成22年国勢調査でみる鳥取県

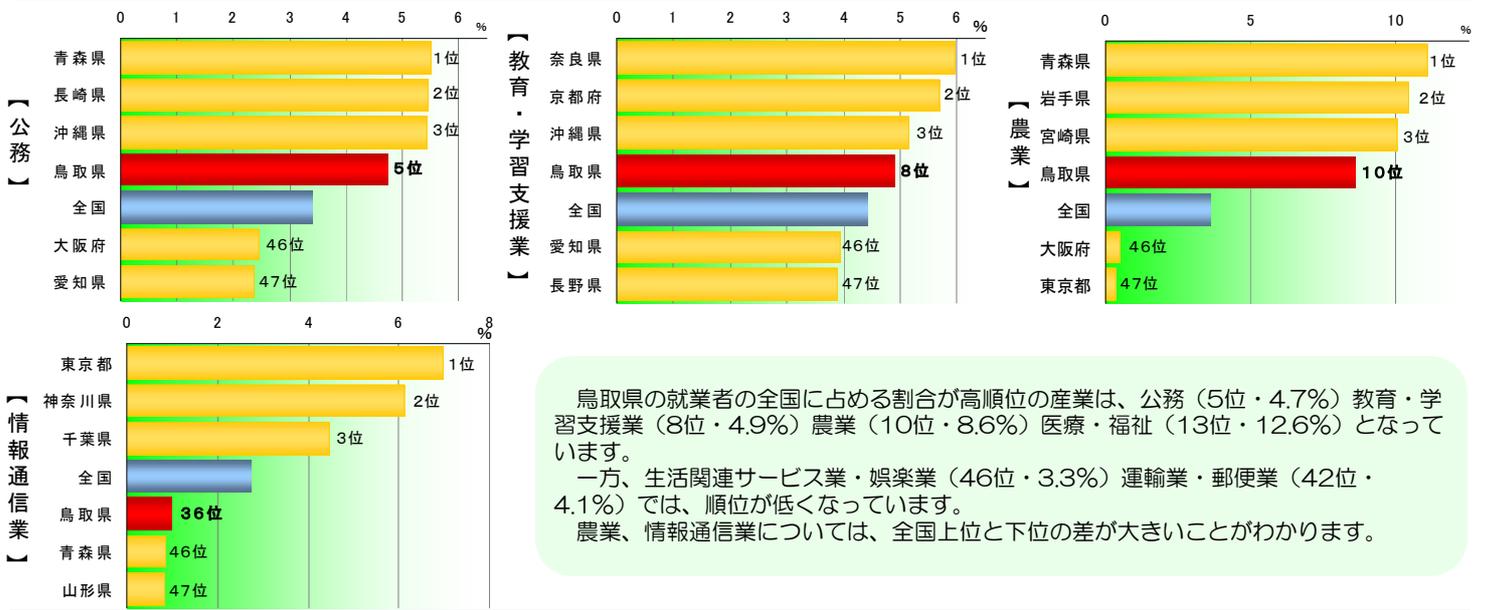
～産業分類別～

産業大分類別就業者数の推移



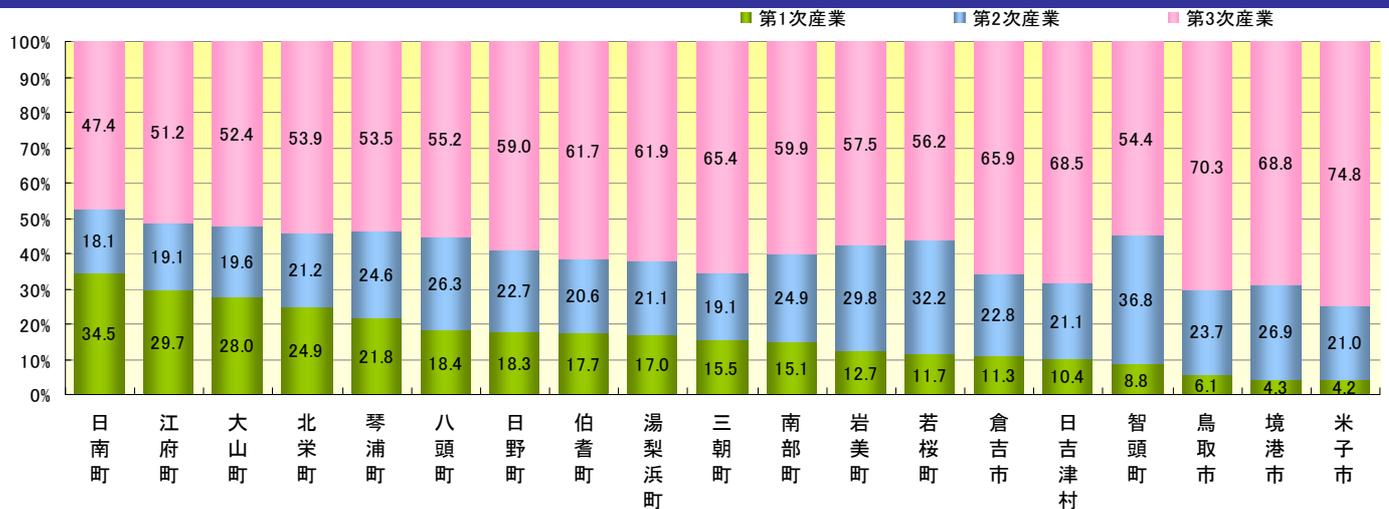
15歳以上就業者数を産業大分類別で平成17年と比較してみると、医療・福祉が4,277人、運輸業・郵便業が172人の増加。
建設業が6,862人、農業・林業が6,263人、製造業が6,163人の減少。
全体で見ると、17,985人の減少がありました。

都道府県別主な産業別15歳以上就業者の割合



鳥取県の就業者の全国に占める割合が高順位の産業は、公務（5位・4.7%）教育・学習支援業（8位・4.9%）農業（10位・8.6%）医療・福祉（13位・12.6%）となっています。
一方、生活関連サービス業・娯楽業（46位・3.3%）運輸業・郵便業（42位・4.1%）では、順位が低くなっています。
農業、情報通信業については、全国上位と下位の差が大きいことがわかります。

市町村別産業別就業者割合



第1次産業の割合が多いのは、日南町、江府町。第2次産業は、智頭町、若桜町が30%を超えています。第3次産業は、米子市、鳥取市が70%を超えて多くなっています。第1次産業・第3次産業は西部、第2次産業は東部の割合が比較的高くなっており、地域によって産業の傾向があることがわかります。

産業大分類 3部門は次のように分類されます

- 第1次産業・・・農業・林業、漁業
- 第2次産業・・・鉱業・採石業・砂利採取業、建設業、製造業
- 第3次産業・・・運輸業・郵便業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉、公務 など